

1 題材設定の理由

活動内容・項目

主たる内容・項目

学級や学校の生活の充実と向上に関すること

学級や学校における生活上の諸問題の解決

関連する内容・項目

学級や学校の生活の充実と向上に関すること

学級内の組織づくりや仕事の分担処理

題材設定の背景及び生徒の一般的な実態と現状

後期の学級(学校)生活の始まりにあたり、よいスタートが切れず、不安を抱えてしまうことがある。そこで、学級生活全般にわたって喜びや不安を話し合わせたり、自分と級友との交わり方を考えさせたりして、学級生活へのよりよい適応を図りながら、集団生活のなかで自分を生かしていくことや、学級生活をよりよくする方法を考え、実行に移すことをねらいとした活動が必要となる。

指導法・指導上の留意点

学級をよりよいものにしていくことは、生徒一人一人の学級生活を充実させていくことにもつながる。本プログラムでは、セルフモニタリングの実践(「みんなでつくろうよりよいクラス」)により、自分たちのクラスのよさを考える活動を通して生徒同士の相互理解を深めながら学級の支持的風土を高めたい。また、クラスの課題を明らかにし、解決にむかって具体策を話し合うことで、後期の学級組織づくりや活動計画づくりに見通しをもたせたい。

2 指導目標

学級のよさを考え、発表し合う活動をとおして、生徒相互の理解を深めながら、学級の支持的風土を高める。

学級の課題とその具体策を話し合う活動をとおして、後期の学級組織や活動計画に見通しをもつことができるようにする。

3 指導計画

事前・事後指導との関連

事前指導 - 短学活；学級に対して好きなところ、よりよい学級にするための課題を考えさせておく。

《本時》 - 学級活動；「学級生活のなかで」(私たちにできること)の授業を実施する。

事後指導 - 短学活；授業をとおして自分の気持ちがどう変容したか、自己の課題の解決に何ができるかをモニタリングする。

学級活動；後期の学級組織・活動計画づくりに積極的に取り組むことができるよう援助する。

4 指導案

指導過程

本時のねらい	学級のよさや課題をとらえ、よりよい学級にしていこうとする雰囲気高める。よりよい学級にするための具体策を考え、実行に移すことができるようにする。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。 ・学級担任から学級のよいところ(好きなところ・頑張っているところ)について話を聞く。	学級担任として、学級づくりの方針に照らしながら、学級として頑張っていると感じていること、後期に向けての思いなどを温かな雰囲気のなかで伝える。	【評価1】
展開 (40分)	2 セルフモニタリングの説明を聞き、学級の「好きだな」と思うところを各自シートで確認する。 3 学級の好きなところをグループ内で紹介し合い、学級の自慢できるところとしてPR文をつくる。 4 グループ(4～5人程度)のリーダーが、PR文を紹介する。 5 もっといい学級にするための課題を各自シートで確認する。 6 グループ内で意見交換し、学級が成長するための突破口を3つ以内にまとめる。 7 話し合った内容をリーダーが発表する。	モニタリング1 事前に書いてある内容を確認させ、この時間に新たに思い浮かんだ事柄を記入させる。 モニタリング2 司会進行を中心に、グループとして3つ程度のPR文をつくらせる。 最初は、各グループから1つのPR文を紹介させ、教師が要点を板書する。 モニタリング3 事前に書いてある内容を確認させ、この時間に新たに思い浮かんだ事柄を記入させる。 モニタリング4 突破口は、具体的な行動目標になるように注意する。 大きな声で、全体に伝えるように指示する。	配布資料 SELF MONITORING 「私たちのクラスを知り、育てよう」 【評価2】 【評価3】
まとめ (5分)	8 振り返りカードに、今日の授業で考えたこと、感じたことを記入する。 9 後期の学級生活に向け、これからすぐにでも実行できそうなことを確認する。	記入時の様子や内容をもとに、アフターケアの必要な生徒がいないか把握する。 モニタリング5・6については短学活の時間に書くことを予告する。	振り返りカード 【評価4】

評価計画(評価の観点)

評価1 関心・意欲	学級のよさを考え、よりよくしていこうという関心・意欲は高まったか。
評価2 表現・技能	学級のよさをとらえ、学級のPR文を作ることができたか。
評価3 知識・理解	学級の課題をとらえ、具体策を考えることができたか。
評価4 思考・判断	よりよい学級づくりのためにできることを実行しようとしているか。

5 プログラムの展開例

活動場所 教室

準備物 ワークシート「私たちのクラスを知り、育てよう」、振り返りカード

導入（5分）

- 1 本時のねらいを理解する。

私（先生）が、このクラスのいいなと思うところは・・・



・へえ、先生はそんなふうに見てくれていたんだ。
・うん、うん、私もそう思う！

展開（40分）

- 2 モニタリング1

学級の「好きだな」と思うところを挙げてみよう。



- 3 モニタリング2

学級のPR文をつくろう！



・まず、明るいところかな・・・
・個性的な人が多いかな・・・

- 4 PR文の紹介をする



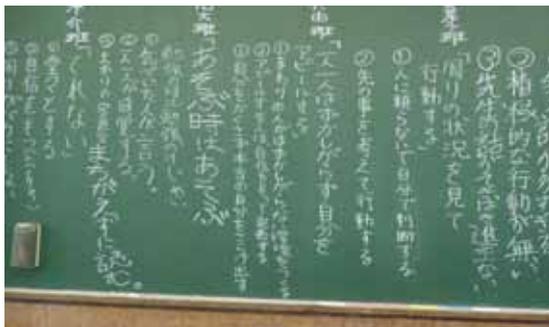
5 モニタリング 3

もっといい学級になる
ためには・・・



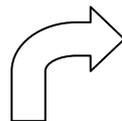
6 モニタリング 4

グループ内で突破口を
3つ以内にまとめよう。



7 話し合った内容を発表する

まとめ (5分)



8 振り返りカードに、今日の授業で考えたこと、感じたことを記入する。

9 後期の学級生活に向け、これから実行できそうなことを確認する。

6 生徒の反応(「振り返り用紙」等から): ねらいとの関連

学級のよさを見出し、肯定的にとらえている例

- ・ 学級のよいところが色々わかった。クラスみんながけじめのある行動ができるといいと思う。
- ・ 今までは学級についてまとまりがなく、けじめがないと思っていたけれど、このセルフモニタリングをやって、改めて学級のいいところを見つけることができた。
- ・ このクラスには、いっぱいいいところがあると思った。また、こういう授業があればいい。

学級のよさや課題を踏まえ、よりよい学級を目指そうとする例

- ・ クラスのよいところや課題、成長するための突破口などを考えたので、明日からは課題を改善するためにがんばっていきたい。
- ・ 今まで深くクラスのことを考えたことがなかったので、今日のような機会に考えることができてよかった。色々よいところも見つかったし、突破口も出来上がった。これからはこれらの突破口を目標に学級がよくなるようにがんばりたい。
- ・ このクラスには悪いところもあるけれど、それ以上にいいところがたくさんある。いいところはこれからも伸ばし、悪いところはこれから少しずつ直していけば、もっといいクラスになると思う。

構成的グループ・エンカウンターを取り入れた授業に対する興味・関心

- ・ 学級のよいところ、改善すべきところをみんなで話し合うことができ、とてもよい時間になった。
- ・ グループでいろいろなことを協力して考えたことが楽しかった。
- ・ みんなで話し合ったら、楽しかった。クラスのよいところや直したほうがよいところを見つけることができたのでよかった。
- ・ 日頃、学級の長所や課題を考える機会はあまりないので、班の人たちと本気で話し合えてよかった。
- ・ 今日はリーダーとしてがんばった。PR文も作れたし、アイデアもいろいろ見つけることができた。今日の授業は楽しかった。

否定的な感想を述べている例

- ・ 学級の好きなところを見つけることが少し難しかった。

7 授業者の感想

授業全般について

- ・ 学級のよい点に着目することで自分たちの学級を肯定的にとらえ、よさを実感している生徒が多く見受けられた。その結果、学級の改善策について積極的に意見を出し合うことができた。この授業を契機に学級内にまとまりが見られるようになった。
- ・ 悪いところに焦点を当てる方法から、よいところに目を向け、現状よりさらによいものにしていこうとする発想の転換が、その後の学級生活(の雰囲気づくり)に大いに役立った。肯定的な受け止め方の大切さを生徒も教師も実感することができた。

エクササイズ「セルフモニタリング」について

- ・ 生徒たちは、事前に「モニタリング1(学級のよさ)」と「モニタリング3(学級の課題)」を考えて本時に臨んだため、「モニタリング2(学級のPR文)」と「モニタリング4(突破口)」についての話し合いが活発に行われた。
- ・ 「モニタリング5(自分自身の課題)」と「モニタリング6(突破口)」については、その後学級で時間をとって行った。後期学級組織の編制と関連付けて、(生徒や学級の実態を踏まえながら)年間指導計画上2時間枠で実施するかどうか検討したい。

8 関連プログラム・参考文献等

参考文献

- ・ 「エンカウンターで学級が変わる Part 1～3 中学校編」 國分康孝監修(図書文化)
- ・ 「エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集 Part 1～2」 同上



私たちのクラスを知り，育てよう

1 年 組 番 氏名 _____

self monitoring (セルフモニタリング) とは・・・

「顔についた墨は見えない」といいます。自分のことは、
 案外自分ではわかりにくい，という意味です。それどころ
 か、私たちは、自分自身について、案外悪いことが気にな
 ったり記憶に残ってしまったりして、自分のことを正しく
 理解できないでいることがあります。

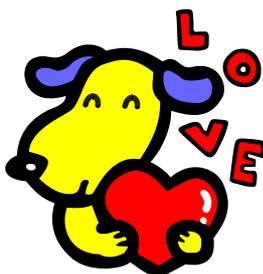
セルフモニタリングとは、「自分たちにかかわる正しい
 情報を整理して、よいところはどんどん伸ばし、課題があ
 ればそれは何なのかを明確にするための方法」です。

monitoring 1できるだけたくさん書いてみよう。

私は、この学級の _____ ところが好きです。

monitoring 2学級のPR文をつくってみよう。

[参考] 私は、この学級の _____ が自慢です。



monitoring 3 もっといい学級になるためには

私の考えその _____

私の考えその _____

私の考えその _____

私の考えその _____

私の考えその _____

monitoring 4 学級が成長するための突破口を考えてみよう。

突破口 _____

突破口 _____

突破口 _____

今日のセルフモニタリングで、私たちの学級のよいところが見えてきたと思います。それが、私たちがこれまで育ててきた宝です。大事にしましょう。また、クラスを飛躍させるための3つの突破口を、みんなでこれからちょっと意識できるようになれば、クラスはきっとよい方向へ成長します。ですが、人間は失敗をする生き物。いつも、うまくいくとは限りません。大事なことは、「あっ、そうだった。気をつけよう」と、気を取り直してまた意識しようとする姿勢です。

毎日が、私たちの成長のためのスタートの日。明日、あなたは、このクラスは、どれだけ成長していることでしょうか・・・

monitoring 5

変化 私は _____ ができそうです。

monitoring 6

突破口 _____

突破口 _____

突破口 _____

「みんなでつくろう よりよいクラス」

振り返りカード

1年 組 番 氏名

- 1 今日の授業（活動）を振り返っての感想を教えてください。
（自分の気持ちに一番近いものの数字を で囲んでください。）

その通り やや
 その通り あまりその その通り
 通りではない ではない

この活動は楽しかった。

4 3 2 1
| | | |
└──────────────────┘

クラスの好きなおところを見つ
けることができました。

4 3 2 1
| | | |
└──────────────────┘

クラスのPR文を，協力して
つくることができた。

4 3 2 1
| | | |
└──────────────────┘

クラスの課題を考えることが
できた。

4 3 2 1
| | | |
└──────────────────┘

クラスが成長するための突破
口を，協力して考えることが
できた。

4 3 2 1
| | | |
└──────────────────┘

- 2 今日の授業（活動）全体を振り返って，感じたことや思ったことを自由に
書いてください。